

# 視床出血により右片麻痺を呈した症例の屋外歩行の獲得に向けて

## 歩行の自立に向けての評価や選定について

### 若手の意見

- \* 歩行スピードの確認、10m歩行などを行う。
- \* タ馬拉ックやオルトトップが有効か検討する。
- \* タ馬拉ックかシューホンが有効か検討する。
- \* 装具の必要性を本人に理解してもらう。
- \* つま先があがっている靴の検討。
- \* 家の環境設定をする。
- \* 左側に補高してみたらどうか。
- \* 短下肢装具のプラスチックタイプ（背屈誘導をする）を検討。
- \* 杖歩行の評価（装具受け入れも含めて）。
- \* 下腿の筋力評価や足関節の可動域評価を行う。
- \* 立位のバランス評価（平衡反応の有無）をみる。
- \* 歩行前後の筋緊張の変化を確認する。
- \* どのような生活様式かを考慮する。
- \* 具体的な使用場面はどこで、歩きやすさはどうなのかを確認する。

## 装具作成の体験談について

### 若手の意見

#### 【成功例】

- \* 作成者がいません。
- \* 作成したことがないので特にありません。

#### 【失敗例】

- \* つけるのが面倒とのことで、使用してもらえない。
- \* ADLの中で想像以上に過剰努力してしまい、装具で痙性を抑えられなくなった。
- \* 装具着用時にベルクロを巻き込んでしまう。

## 歩行の自立に向けての評価や選定について

### 中堅の意見

- \* 使う場面や頻度を考える。ADL 重視なのか歩行重視なのか。また、歩行は屋内レベルか屋外レベルで考えるのかなど。
- \* 装具の着脱が自分で行えるか評価をする。
- \* デモ品でまずは評価する。
- \* 装具を使わないでまずは評価してみる（インソール、靴下などで検討する）。
- \* 歩行距離で評価する。

## 装具作成の体験談について

### 中堅の意見

#### 【成功例】

- \* 歩行の疲労が軽減した。
- \* 利用者自身に実感があった。

#### 【失敗例】

- \* 退院後に装具を使わなくなってしまった。
- \* LLB 作成したが、カットダウンが早く来てしまったので、最初から SLB でもよかったのではないかと。
- \* 下腿義足を作成したものの、萎縮が進行し体重比と合わなくなってしまった。経験不足もあり、材質が変更できず大変だった。
- \* もっと早く作成しておけばよかった。

## 歩行の自立に向けての評価や選定について

### ベテランの意見

- \* この症例は装具を使ってくれるのか、本人の受け入れはどうか。
- \* 内反抑制するようなものを検討するのと、内反がでないような歩行を指導する。
- \* つま先上がる転倒防止靴下などを検討してみる。
- \* セラピストの想いとして屋外歩行があるが、外出する事と外出する手段とどちらに比重をおいているのか。
- \* 本人への選択肢の一つとしての装具であれば、なるべくベーシックなものを勧める。
- \* 装具士とセラピストの話し合いを本人が聞くことで、本人の装具に対する意識が変化することもある。→結果として使わなくてもいいんじゃないかとなることも・・・
- \* 訓練用の装具で本人の受け入れを確認しておくとうい。
- \* 階段昇降はなぜ横歩きで2足1段なのだろう・・・

## 装具作成の体験談について

### ベテランの意見

#### 【成功例】

- \* tone をおとすために1～2か月歩行禁止し、装具に合うような身体状況にしてから装具をつけて、重心移動や歩行練習をし社会復帰できたケースがある。

#### 【失敗例】

- \* 病院では使っていたが、在宅に戻ったら使用しなくなってしまった。
- \* 装具作ったが、退院時に家に持って帰ってくれなかった。
- \* 着脱が思っていた以上に大変。
- \* 装具をつけない補高場面があると、将来つけなくなってしまいやすい。